

第44回未来教室 杉並区立井荻小学校

1. 学校名 杉並区立井荻小学校
校長 梅津典子
杉並区善福寺1-10-19
03-3390-3141
2. 主催 杉並区立井荻小学校・学校支援本部共催「土曜日学校」
3. 開催日時 平成25年10月5日(土)
10:00~12:00
4. 対象学年 1年生~6年生 (46名)
5. 授業内容 「3Dって?」
6. 協力企業 株式会社 NHKメディアテクノロジー
講師 村山 至様(放送技術本部 営業推進部 副部長)

当日の様子



NHKメディアテクノロジーの体験学習をして

杉並区立井荻小学校 梅津 典子

10月5日(土)に本校学校支援本部の主催で、「おやし日本」の企画によるNHKメディアテクノロジーの体験学習を行いました。

主な内容は、飛び出す立体画像の3Dの体験と、3DのしくみやNHK(放送局)の仕事についての話をうかがいました。

3D画像の体験では、3D眼鏡をかけ、「こころの森」という冒険ものでは、森の1枚1枚の木の葉を身近に感じ、大きなカブト虫に乗って空中を飛行する場面では、飛び出してくるカブト虫にぶつからないようによけてしまいました。また、海中の魚の生態についての作品では、目の前を泳ぐフエフキダイやカクレクマノミを捕まえようと思わず手を出してしまいました。

3D映像の体験だけでなく、3Dの仕組みや3Dの撮影の仕方やカメラの配置、どんな場面に使われているか、特にスポーツの中継やアーティストのライブ中継に使われていると聞き、実際に会場にいるような臨場感が持てると思いました。2020年の東京オリンピック・パラリンピックでもこの技術がさらに進み活用されるのではないのでしょうか。

最後に、開発のために研究が続けられていること、放送局で働く人たちについても教えていただき、小学校1年生から中学校2年生までという参加者の興味にも応じた話をしていただき、有意義な時間を過ごすことができました。

子どもたちの感想

いつもは、家のDVDで見ているが、3Dと言ってもそれほど飛び出していない。今日のは、色がきれいだし、すごく飛び出してきた迫力があつた。家の3Dメガネは赤と青だが、今日のメガネは、色が薄いのと濃いので不思議だった。(4年 長谷川 颯)

今まで見た3Dの中で一番飛び出してきた本物みたいだった。木の実が飛び出してきたところはつかめそうでつかめなくて面白かった。3Dの仕組みは少し難しかったが、よくわかった。(3年 鈴木 真子)